

章司(松本歯大・電顕室), 山崎 正(信州大・医・歯口外). 歯基礎誌, 25(抄録集): 289, 1983. 歯科基礎医学会総会(第25回)昭和58年10月.

病的石灰化組織に関する病理学的研究(第3報) Cemento-Ossifying Fibroma について: 河住信, 長谷川博雅, 中村千仁, 川上敏行, 枝重夫(松本歯大・口腔病理), 山本一郎, 平山政彦(松本歯大・口腔外科II), 赤羽章司(松本歯大・電顕室). 松本歯学, 9: 244-245, 1983. 松本歯学会総会(第17回)昭和58年11月.

食品の中から現われた歯牙片の鑑定例: 金子至, 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 枝重夫(松本歯大・口腔病理), 赤羽章司(松本歯大・電顕室), 山本勝一, 大谷 進(神奈川歯大・法医). 松本歯学, 9: 245-246, 1983. 松本歯学会総会(第17回)昭和58年11月.

農薬被曝下のシナップスと筋紡錘の変化(電顕および細胞化学的所見): 青木京子, 川原一祐, 中川博司(松本歯大・生物), 赤羽章司(松本歯大・電顕室). 松本歯学, 9: 255, 1983. 松本歯学会総会(第17回)昭和58年11月.

Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造(第2報): 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 枝重夫(松本歯大・口腔病理), 小松正隆, 古沢清文, 井手口英章(松本歯大・口腔外科II) 赤羽章司(松本歯大・電顕室). 松本歯学, 9: 257, 1983. 松本歯学会総会(第17回)昭和58年11月.

唾液腺腫瘍の1つである粘表皮癌を透過電顕によって観察したところ, コラーゲン線維を主体とする腫瘍間質の中に少量ではあるが種々の球状構造物を認めた. その構造は形態学的に, 一層の単位膜をもったもの, 内部に微細粒子を容れたもの, 粒状結晶が均質あるいは層状をなしたもの, 粒状結晶と針状結晶が混在したもの, 針状結晶が単独に成長したものなどに分類できた. また分析電顕によって, 粒状結晶および針状結晶にはPとCaが存在することを認め, よってこの構造は石灰沈着によるためと考察された.

Eplis Fibro-osteomatososa の1例に見られた immature bone のEPMA 分析について: 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁(松本歯大・口腔病理), 中島和敏, 井手口英章, 古沢清文(松本歯大・口腔外科II), 赤羽章司(松本歯大・電顕室). 松本歯学, 9: 258-259, 1983. 松本歯学会総会(第17回)昭和58年11月.

第19回 松本歯科大学学会(総会)開催の案内

◎第19回松本歯科大学学会(総会)は, 昭和59年11月17日(土)午後1時より本学に於て開催致しますので, 何卒ご出席賜りますようご案内申し上げます。

松本歯科大学学会 会長 加藤 倉 三

◎演題募集

○講演に出題希望の方は, 400字以内(B5原稿用紙使用)の要旨をつけ, 10月27日(土)正午までに集会幹事までお届け下さい。(講演時間は1題8分の子定)。なお講演終了後, 目的・方法・成績・考察の順に書かれた1,200字以内(B5原稿用紙)の抄録を提出していただきます。

松本歯科大学学会 集会幹事